



令和7年度 古河市立水海小学校 グランドデザイン

本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し 協力しあう心を育てる



古河市学校教育の目標

一人一人の個性や能力を伸ばし、
確かな学びをはぐくむ
健やかな体をつくり、たくましい心を養う
郷土古河を愛し、豊かな心をつちかう

<本校教育の目標> 心身ともに健康でたくましく 主体的に学ぶ 心豊かな児童の育成

めざす学校像

- 安全・安心な学校
- 夢を育む楽しい学校
- 地域とともにある学校

めざす児童像

- 自ら学ぶ子ども
- 思いやりのある子ども
- きたえる子ども

めざす教師像

- 子どもの気持ち理解できる教師
- 子どもの力を伸ばせる教師
- 明るく積極的に人間性豊かな教師

<組織目標> 児童一人一人が学ぶ楽しさと意義、そして成長を実感できる教育活動の推進

考える

学ぶ楽しさと意義を実感できる授業づくり

①知識・技能の確実な習得に向けた

個別最適な学びによる授業づくり

- ・1時間の授業のねらいの明確化と振り返りの充実
- ・一人一台端末の効果的な活用による個別最適な学びの場の保障
- ・チャレンジテストの効果的、計画的実施

②対話的・協働的な学びに向けた指導方法の

工夫改善

- ・根拠をもとにお互いの考えを伝え合い、聴き合い、深め合う授業実践
- ・探究的な学びの授業づくりに向けた研修体制の整備
- ・表現力向上に向けた言語活動、読書活動の推進



授業は分かりやすく楽しい 児童評価 3.3
ICT 機器を活用した授業実践 職員評価 3.1

助け合う

自他のよさを認め合い、共に成長できる
学校・学級づくり

①心の居場所となる学校・学級づくりの推進

- ・互いのよさに気づき認め合う教育活動の充実
- ・基本的生活習慣の徹底（聞く・聴く）
- ・道徳教育及び人権教育の充実によるいじめを絶対に許さない態度の育成

②自己肯定感と自己有用感を育てる教育活動の推進

- ・児童一人一人のよさや成長を認め励まし、子どもが主役の特別活動の充実
- ・縦割り班活動や異学年交流の充実

③個別的な配慮が必要な児童への支援の充実

- ・教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- ・不登校傾向の児童に対する手立てと関係機関との連携



学校に行くのが楽しい 児童評価 3.2
自分の良さを発揮している 児童評価 3.1

きたえる

健康で安全な生活を営む態度の育成

①学校安全・学校防災教育の推進

- ・交通安全教室や避難訓練の計画的な実施と地域と連携した安全、防災教育の推進
- ・学校事故の未然防止に向けた危機管理マニュアルの見直し

②体力向上と健康教育の充実を目指した

教育活動の推進

- ・体育的行事や外遊びによる運動に親しむ態度の育成と体力の向上
- ・食育や感染症対策に関する指導体制の充実
- ・ロング昼休みによる健やかな体づくり



安全・安心な学校づくり 保護者評価 3.4
体力テストA+Bの児童の割合 70%

地域住民や保護者から信頼される学校づくり・教職員の資質能力の向上と働き方改革の推進

①学校ビジョンを共有した地域とともにある学校づくりの推進

- ・学校運営協議会との連携による、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える活動の充実
- ・地域学校協働活動と連携した外部人材、保護者ボランティアの積極的活用

②教育活動の積極的な情報発信による家庭・地域との連携

- ・学校HP、各種便りによる積極的な情報発信
- ・学校評価の結果及び改善方策の公表による組織的・継続的な学校改善



学校からの適切な情報発信 保護者評価 3.5
保護者との連携・協働体制づくり 保護者評価 3.6

①質の高い教育活動の推進に向けた教職員の資質向上

- ・教員評価の効果的な活用と教職員一人一人のニーズに応じたOJT研修の充実
- ・計画的なコンプライアンス研修による服務規律の確保

②働き方改革の継続的な推進

- ・週2日5時間授業や定時退勤日の設定による勤務時間の適正化
- ・仕事へのやりがいと充実感をもって能力を発揮できる職場環境づくり

月の超過勤務時間 45 時間以内 職員 71%
仕事へのやりがい・充実感 職員評価 3.0

人権尊重の精神を貫き、一人一人を大切にすることで「信頼される学校」づくりを目指します